

Contents

- 特集① 富山ゆかりの「ふるさと文学」
- 特集② 土砂災害から身を守るために
- 知事が答える 元気とやま目安箱
- 県政の動き
- 県内おでかけ情報
- 健康レシピ「あわびご飯」
- 県広報のお知らせ
- 県政クイズ

小倉さんと 深層水トマト、 夏に挑む。

県では、「低温安定性」「富栄養性」「清浄性」という三つの特徴を持つ富山湾の海洋深層水を有効活用するため、産学官が連携・協力して研究開発を進め、今では様々な商品が誕生しています。

こうした中、農業分野での活用に力を入れているのが、フルーツトマト農家の小倉豊明さん(小矢部市在住)。水耕栽培の溶液に海洋深層水を入れることで、甘くてコクのある「深層水トマト」を作り出しています。これは塩分を吸収しないトマトに、あえて吸いにくい溶液を与えることで、成長を抑え、味を濃くしたものです。



とやま発
めざせ
日本一!
温故維新



約6年前に全国放送で取り上げられ、それを機に全国各地にファンが増え続けています。

もともとはミニトマトを作っていた小倉さん。しかし、年々相場が下落していくため、「人とは違うやり方で美味しいものを作らねば」と一念発起。四国の塩分豊富な畑で作られているトマトを参考に試行錯誤の末、北陸では数少ない水耕栽培によるフルーツトマト作りにたどり着いたのです。

今も、小倉さんのチャレンジはとどまることを知りません。今年から、1棟のハウスにヒートポンプの冷暖房を導入。日中は水の霧、夜は冷房により、ハウス内を快適な温度に保つことで、今まで断念してきた夏の出荷を目指しています。「四季を通して美味しいトマトを安定して提供し続けられる農家になりたい」という強い思いが、小倉さんの原動力。富山湾の海洋深層水を使った日本のフルーツトマトを目指して、今日も小倉さんの挑戦は続いています。

「美味しいのが1番」と微笑む小倉さん。トマトは温度変化に敏感なため、温度管理や日照管理に気配りしながら、美味を追求している。



Q. 富山県は野菜の自給率が低いという点ですが、安全で安心な野菜の自給率を高めるため、県ではどのような取組みを行っていますか。

A. 本県は、気候風土と豊かな水に恵まれ、古くから米作り中心の農業が行われています。現在の農業産出額のうち、米が7割を占める一方、野菜などの園芸作物の産出額が全国最下位となっています。また、平成18年の本県の食料自給率は76%と国(99%)を大幅に上回っているものの、野菜の自給率は20%にとどまっています。

県では、米に特化した生産構造を改善し、安全で新鮮な農産物の流通を促進するため、

- ① 米中心の農業経営に野菜などの園芸作物を取り入れること
 - ② 3 ha以上の野菜大産地の育成を図ること
 - ③ 消費者ニーズに即した計画的な園芸生産を行い、地域内での流通を図ること
 - ④ エコファーマー(*)を育成し、安全な農産物の生産を推進すること
 - ⑤ 直売活動を推進すること
- などの取組みを積極的に支援することとしています。
- 今後とも、野菜や果樹などの生産振興を図るとともに、農産物を安定して供給できるように努めてまいります。

(*)エコファーマー：減農薬、減化学肥料で農産物を生産する農業者

知事が答える 元気とやま 目安箱

皆様のご意見をお待ちしています。

「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

◎はがき・手紙
〒930-8501 県庁広報課

◎FAX
076-444-3478

◎インターネット
<http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>



この件のお問い合わせは ▶ 県農林水産企画課 TEL.076-444-3368

特集 1 富山ゆかりの「ふるさと文学」

とやまの魅力を綴る

「ふるさと文学」に

親しみ学ぶ

美しく豊かな富山の自然や風土の中で育まれてきた「ふるさと文学」は、郷土の歴史や文化を再認識し、継承、発展させていくための県民共有の大切な宝です。県では、より多くの県民の皆さんが「ふるさと文学」に親しむことができる環境づくりを進めていきます。

富山が生んだ多彩な文学作品

古くは大伴家持が万葉集で223首もの越中の歌をよんで以来、富山ゆかりの「ふるさと文学」が数多く生まれています。これまでに、堀田善衛、角川源義、藤子不二雄など多数の作家を輩出しており、また、宮本輝の「蜚川」、柏原兵三の「長い道」、間もなく全国公開される映画の原作である新田次郎の「劔岳点の記」など、本県を舞台とした多彩な文学作品が世に送り出されてきました。

富山の宝「ふるさと文学」の振興を

「ふるさと文学」は、郷土の歴史や文化を再認識し、継承、発展させていくための大切な宝であり、これらの存在を広く県民の皆さんに周知する必要があります。

また、これらの貴重な文学資料の一部は、個人の努力で収集・保管されているものも相当数あり、散逸してしまわないように、今後きちんと収集・整理していかなくてはなりません。

こうしたことから、芸術文化・教育・経済



「ふるさと文学」とは？

富山ゆかりの作家、本県を舞台とした作品のこと。映画、漫画、アニメ等も含まれます。

など各界の方々による「ふるさと文学魅力推進検討委員会」を設置し、「ふるさと文学」の振興のあり方などについて幅広く議論いただいた結果、
● 県民が「ふるさと文学」に親しみ、学び、創り、発信することのできる機会の提供や必要ない点について努めること
● 富山ゆかりの貴重な文学資料を収集、分析、保管する仕組みを構築すること
などを要点とした報告書がとりまとめられました。
また、県民アンケート調査では、『ふるさと文学の振興に取り組むべき』という意見が約9割に達するなど、その関心の高さが示されました。

Interview

県民の豊かな財産 ふるさと文学の魅力

ふるさと文学魅力推進検討委員会委員
聖徳大学 人文学部教授
八木 光昭さん (魚津市)

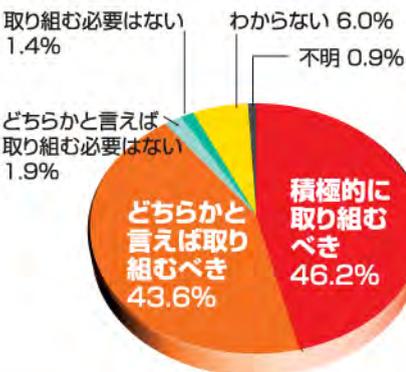


国外に出ると郷土の文化についてしばしば説明を求められます。自らの基盤、身の回りのことをよく知らなければ、他国の人とは渡り合えません。自らがよって立つ文化や歴史をしっかりと身につけることが大切です。それには、ふるさと富山の文学を読むことが最良の手立てなのです。

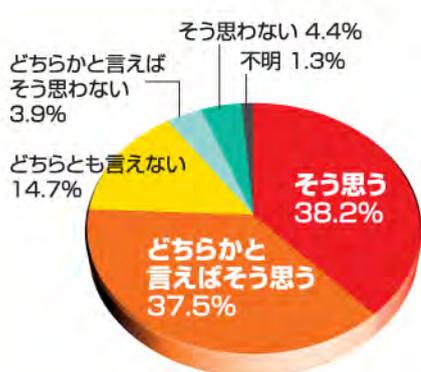
豊かな自然風土の中で生まれ、描かれた先人の「生」の諸相。富山の文学は魅力的であり、ゆかりの作家も多彩な顔ぶれがそろっています。この豊かな財産である「ふるさと文学」の魅力を楽しむ県民が増えていくことを願ってやみません。

県民アンケート調査の結果 (平成20年10月調査)

ふるさと文学の振興に取り組むべきですか



ふるさと文学に親しむための拠点施設は必要だと思いますか



「ふるさと文学」にもっと親しもう！

県では、検討委員会からの報告書や県民アンケート調査の結果を踏まえ、今年度から新たに「ふるさと文学」の振興に向けた普及啓発、資料収集、基盤づくりに取り組むことにしており、今後、世代を問わず、「ふるさと文学」に親しみ学ぶことができる環境づくりを進めていきます。

平成21年度の主な取組み内容

- ① 普及啓発等
 - ふるさと文学ゆかりの地散策ツアー
 - ふるさと文学に関する講座の開設
 - テレビ、ラジオでの紹介番組の放送
- ② 資料収集・基盤づくり
 - ふるさと文学資料評価・活用委員会の創設
 - 文学資料の評価や活用策を検討する専門組織
 - ふるさと文学発掘チームの発足
 - 文学資料の収集に当たり、県民との窓口機関として、情報収集、PR等を行うボランティア組織
- 文学振興の拠点づくりに関する調査・検討

このページのお問い合わせは

県文化振興課 TEL.076-444-3454
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1718/

特集 2

土砂災害から身を守るために

毎年多くの土砂災害が発生

現在、本県には、土砂災害の恐れがある危険箇所が4,837箇所もあり、昨年7月の集中豪雨は南砺市に大きな土石流災害をもたらしました。また、平成14年には氷見市で大規模な地すべり災害が起こるなど、毎年多くの土砂災害が発生しています。

昨年7月の南砺市での土石流災害



平成14年の氷見市での地すべり



土砂災害から身を守るために

6月は土砂災害防止月間です。急峻な山岳地帯や急流河川を有する富山県には、土石流や地すべり、がけ崩れなどの恐れがある危険地帯が数多くあります。突然襲う土砂災害から身を守るためには、日頃の備えと早めの避難が大切です。

日頃の備えと早めの避難を!

県では、砂防、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策などを実施し、土砂災害の未然防止に努めてきていますが、土砂災害による被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが気象情報等に注意し、早めに避難することが最も大切です。

ポイント1 土砂災害に対する認識を深めよう

県では、土砂災害が発生した場合における警戒避難体制の整備などを図るために、土砂災害の恐れがある区域の調査・指定を進めています。皆さんは、日頃から危険箇所、避難の場所や道順などを確認しておいてください。

ポイント2 土砂災害警戒情報に注意しよう

大雨等により土砂災害発生の危険性が高まった時に発される土砂災害警戒情報などに十分注意することが必要です。

ポイント3 危険を感じたら早めに避難しよう

土砂災害警戒情報が発令された場合や、土砂災害の危険を感じた場合は、防災無線や広報車による呼びかけに注意し、早めに避難することが重要です。



砂防モバイルサービスのお知らせ

あなたの携帯電話に県内の土砂災害警戒情報などが届きます。



メール配信登録・情報閲覧はこちらから!

<http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/m/>

①メール配信サービス
登録することにより、土砂災害警戒情報や警戒・注意報が発表後直ちに配信されます。

②情報閲覧サービス
県内の雨量や土砂災害危険度の状況図などが、閲覧できます。

このページのお問い合わせは ▶ 県砂防課 TEL.076-444-3342 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1505/

Topix

白岩堰堤砂防施設が国重要文化財に ~国の文化審議会が答申~

4月、立山カルデラの白岩堰堤砂防施設を国の重要文化財に指定すべきとの答申がありました。これは、砂防施設としては全国でも初めてのことです。



白岩堰堤砂防施設は、昭和4年から10年間かけて建設された常願寺川の基幹砂防施設の一つで、今もなお富山平野を土砂災害から守り続けています。

今回の答申は歴史的価値と高い技術力が評価されたものであり、「立山・黒部」の世界文化遺産登録に向けて、新たな一歩を踏み出したものと考えています。

6月20日 全国公開!

県内は6月13日から先行上映

映画 劔岳 点の記



©2009「劔岳 点の記」製作委員会

「劔岳 点の記」の上映がいよいよ始まります。この映画では、劔岳をはじめとする立山連峰の美しくも厳しい大自然の姿とともに、名誉や利のためではなく、自らの仕事への誇りをかけて苦難に立ち向かう人々の姿が鮮やかに描かれています。ぜひご覧ください。

県政の動き

最近の動き

- 4・5 少子化子育てミーティング(氷見市) 少子化子育てミーティング(射水市)
- 12 富岩運河環境水公園野外劇場 オープン記念イベント①
- 19 県水と緑の森づくり会議
- 22 全国スポーツ・レクリエーション祭
- 23 富山県実行委員会設立総会
- 25 少子化・子育てミーティング(富山県) 県緊急経済・雇用対策推進会議
- 27 中小企業との対話(富山県)
- 28 第一回新型インフルエンザ対策本部会議
- 29 新型インフルエンザ発熱相談センターの設置
- 30 新型インフルエンザ発熱外来の設置
- 1 春の叙勲伝達式
- 8 中小企業との対話(高岡市)
- 13 市町村長会議
- 16 富山県・遠州省友好関係締結25周年記念
- 18 富山県友好代表団の派遣(24日) ②
- 18 新型インフルエンザ発熱相談センターの拡充相談時間延長、発熱外来の増設 ※以降も事態の進展に備えた体制を整備
- 23 「スポレクとやま2010」開催5000日前イベント
- 29 とやま森の祭典
- 27 サンプルテラフェスティバル2009
- 21 県民共生センターサマソール(28日)
- 21 エコライフ・アクト大会③
- 21 県スポーツフェスタ総会開会式 (15時) 富山市芸術文化ホール (オーバードホール)
- 6 県議会定例会(26日)



③エコライフに関する多彩なイベントを行います(写真は昨年の様子)。



②両県省の友好交流のさらなる進展に向けて協定書が調印されました。



①多様なイベント等に対応できる野外劇場がオープンしました。

県内おでかけ情報

県立近代美術館

「色彩は踊る 巨匠たちのパレットと作品
—梅原龍三郎からピカソまで—」

開催中～6月28日(日)
料金●一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料

「第9回 世界ポスター
トリエンナーレトヤマ2009」

7月18日(土)～9月27日(日)
料金●一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料

3年に一度開催する、日本で唯一の国際公募によるポスター展です。

前回グランプリ受賞作品 アニク・トロクスター氏(スイス)



富山市西中野町1-16-12 TEL 076-421-7111
開館●9:30～17:00(入館は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、
祝日の翌日 / 交通●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス
(城南ルート)で約10分(無料) 富山駅から地鉄バスで「西中野
口」下車、徒歩2分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm

県水墨美術館

近代日本画の巨匠「橋本関雪展」

前期/6月19日(金)～7月5日(日)・後期/7月7日(火)～26日(日)
料金●一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料

昭和前期に帝展・新文展を中心活躍し、秀でた天分と気宇壮大な制作態度で数多くの秀作、話題作を世に残した橋本関雪。その50年にわたる画業を代表作により紹介します。



「霜猿」昭和14(1939)年

富山市五福777 TEL 076-431-3719
開館●9:30～17:00(入室は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、
祝日の翌日 / 交通●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス
(呉羽山ルート)で約6分(無料) 市内電車大学前行「新富山」
下車、徒歩約10分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

県中央植物園

「私の植物写真展」

(サンライツホール)6月19日(金)～7月15日(水)
植物写真撮影講習会の作品と一般から募集した作品を展示します。

「日曜植物案内」(毎月第1・2日曜)13:30～14:30(当日受付)
見頃の植物や話題の植物について解説します。

「植物園オリエンテーリング」(毎月第3日曜)10:00～11:00(当日受付)
植物クイズを解きながら、園内を楽しくめぐります。

「ゲッカビジン鑑賞」
6月～7月予定(開花日2日間)
ゲッカビジンの開花に合わせて2日間、夜間開園(21:30まで・入園は21:00まで)します。



ゲッカビジン

富山市婦中町上野田42 TEL 076-466-4187
開園●9:00～17:00(入園は16:30まで) / 休園●木曜 / 入園料●
一般・大学生600円(480円)、小中高生無料 ※()内は20名以上の
団体料金 / 交通●富山駅から地鉄バスで「中央植物園口」下車、
徒歩10分 http://www.bgtyrn.org/

とやま発 健康レシピ

【協力】入善町食生活改善推進協議会

あわびご飯



1人分
約299
kcal

入善町では、平成13年から海洋深層水の取水を開始し、その翌年から全国で初となる「深層水あわび」の養殖に取り組んでいます。

今回はこのミネラルが豊富で低カロリーな「深層水あわび」を使った料理を紹介します。やわらかな歯ごたえと豊かな風味が、ふっくらご飯によく合います。

【材料・分量(4人分)】

深層水あわび…4個、米…2合、白ゴマ…少々、
ニンジン…1/4本、大葉…4枚、刻み海苔…少々
【ご飯の炊き汁】あわびの茹で汁…100cc、
水…300cc、塩…小さじ2/3、醤油…大さじ1
酒…大さじ1、みりん…大さじ2

【作り方】

- 米は洗ってザルに上げ、水を切っておく。
- あわびは殻から身をはずし、水で洗っておく。
- ①ニンジンを千切りにする。
- ②水100ccを沸騰させ、あわびをサッと茹でてザルにあげ、端から薄切りにする。茹で汁はとっておく。
- ③②の茹で汁に、水300cc、塩等の調味料を混ぜ合わせ、ご飯の炊き汁を作る。
- ④お釜に米と③の炊き汁を入れ、普通の水加減に合わせて、ニンジンをのせて炊く。
- ⑤ご飯が炊き上がった後、あわびと白ゴマを混ぜて少し蒸らす。
- ⑥茶碗に盛り、千切りにした大葉と刻み海苔を飾る。

- あわびは、スプーンを使って貝柱を切ると、簡単に身をはずせる。
- あわびは、サイコロ状にカットしてもOK!
- 深層水で米を炊くと、よりまろやかに。
- パイ貝やあさりでも応用できます。

必聴 必見 県広報のお知らせ

〇 こんにちには富山県です 北日本放送テレビ

- 毎週土曜 9:30～9:45
- 6/13●企業にひろがるエコの輪
- 6/20●ふるさとの味を食育に!
- 6/27●平成の名水百選を訪ねて

〇 元気とやま情報スクエア FMとやま

- 毎週月～金曜(最終金曜除く) 10:50～10:55、①17:30～17:35
- 毎月最終金曜 10:50～11:00、②17:30～17:40
- ※最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

〇 元気とやま情報チャンネル 富山テレビ

- 毎週日曜 9:00～9:25
- 6/7●お得で楽しいエコライフ
- 6/14●感動体験!黒部ルート見学会
- 6/21●ふるさと再発見!グリーンツーリズム
- 6/28●だまされないで!振り込め詐欺

〇 県からのお知らせ コミュニティFM各局

- ◎富山シティエフエム◎ラジオたかおか◎ラジオ・ミュウ◎エフエムとなみ
- 毎週月曜朝、毎週金曜夕方 各2分半

富山県ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/

〇 とやまメモリアルナイト チューリップテレビ

- 毎週火曜 21:55～21:58
- 県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

〇 新聞広報「県からのお知らせ」

- 6月20日(土)、27日(土)の朝刊各紙に掲載予定
- 20日(土)は、一部の朝刊には掲載しません。
- その他、月刊タウン情報とやま、フリーペーパー「f02」、「fmint」、 「ふみたん」に、県広報をそれぞれ年6回掲載



〇の中に言葉を入れてください。(ヒントは2ページにあります。)

県では、富山ゆかりの作家や本県を舞台とした作品の「〇〇〇〇文学」の振興に取り組んでいます。

正解者の中から、このページで紹介した「深層水あわび(5個入)」を3名の方に、「第9回 世界ポスタートリエンナーレトヤマ2009」の観覧券を10名の方にプレゼントします。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

宛先 〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」 締切 6月19日(金)(必着)

新型インフルエンザ情報

最新情報は、県のホームページにて http://www.pref.toyama.jp/

発熱相談センター

疑わしい症状が認められる方は、医療機関等を直接受診する前に、必ず次の発熱相談センターにご相談ください。

※受付時間…午前9時～午後8時(土、日及び祝日を含む)
※夜間は、右記の電話番号にかけていただく、緊急連絡番号をお知らせしています。



- 新川厚生センター ☎0765-52-2647 [0765-52-4440]
- 新川厚生センター魚津支所 ☎0765-24-0359 [0765-24-9220]
- 中部厚生センター ☎076-472-1234 [076-473-0667]
- 高岡厚生センター ☎0766-26-8414 [0766-26-8464]
- 高岡厚生センター射水支所 ☎0766-56-2666 [0766-56-5494]
- 高岡厚生センター氷見支所 ☎0766-74-1780 [0766-74-0374]
- 砺波厚生センター ☎0763-22-3512 [0763-22-7235]
- 砺波厚生センター小矢部支所 ☎0766-67-1070 [0766-67-4270]
- 富山市保健所 ☎076-428-1155 [076-428-1150]

相談窓口

発熱相談以外の相談については、健康課の相談窓口で受け付けます。

☎076-444-3225

※受付時間…
午前9時～午後9時
(土、日及び祝日を含む)

家庭でできる新型インフルエンザ対策

- ①うがい・手洗い・マスクがあなたを守る。
▶外出後はうがいと手洗いを徹底して体についたウイルスを除きましょう。マスクで防ぐことも大切です。
- ②ひろげよう!せきエチケット
▶せきをしている人はマスクをつけましょう。
▶せき、くしゃみの際はティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。

モバイル県庁

携帯電話からも県の情報を閲覧できます。(右のQRコードから)



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。平成21年6月7日発行 企画・発行/富山県知事政策局広報課 富山市新総曲輪1番7号 076-431-3131(県民相談電話)/076-444-3300(県民相談ファックス) 編集協力/㈱シー・イー・ピー

「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課 あて TEL:076-444-3134 FAX:076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ http://www.pref.toyama.jp/form.html
広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

広告掲載の
お問い合わせ

㈱シー・イー・ピー
企画営業部 まで
TEL:076-439-3311(代)